

現場の改善に向け 荷主企業の皆さまもご配慮下さい



改善基準告示を遵守し、コンプライアンスと安全輸送の提供に向けての現場の改善に対して荷主企業の皆さまには、次のような内容についてご配慮・ご協力をお願いします。

お願い
1

時間設定等に無理のない 計画的な発注をお願いします。

トラックドライバーの運転時間や拘束時間等改善基準告示の遵守を考慮した安全な運行計画を立てられるように、出発時間や到着時間など無理のない発注をお願いします。

また、急な発注条件の変更は、改善基準告示を遵守できないケースがありますので、ご配慮下さい。



お願い
2

積み込みや荷卸しの際の 待ち時間が生じないように お願いします。

現場での積み込みや荷卸しの際に生じる待ち時間は、拘束時間に含まれます。長時間労働の大きな要因になっていますので、短時間で荷物の積み卸しができるように、ご協力をお願いします。



お願い
3

運送事業者からの現場改善の 提案に耳を傾けて下さい。

物流の“プロ”であるトラック運送事業者から、コンプライアンスと安全輸送の提供に向けた『現場改善の提案』について、ぜひ耳を傾けていただき、改善に向けたご協力をお願いします。



トラック運送事業者と荷主企業の協力による改善例



改善基準告示の遵守に向けて、トラック運送事業者と荷主企業の皆さまの協力によって現場が改善されたケースをご紹介します。
荷主企業の皆さまにもメリットが生じています！

ケース1

●改善内容

運送事業者A社では、木材の製造・加工を行う荷主企業B社の自家輸送部分を受託し、その際、複数箇所卸しの輸送について、荷主企業B社の協力で集約化を図り、改善基準告示の遵守に成功しました。

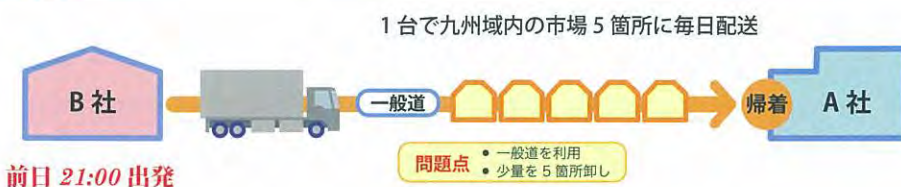
●トラック事業者のメリット

貨物の集約化により改善基準告示を遵守した運行に改善できました。

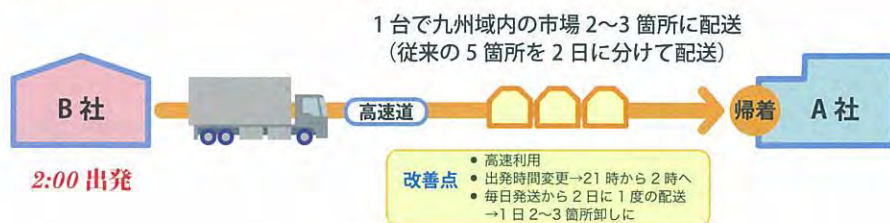
●荷主企業のメリット

運送事業者A社への委託と貨物の集約化により、安全輸送のみならずコスト削減にもつながりました。

Before



After



ケース2

●改善内容

運送事業者E社では、大手飲料メーカーの物流子会社F社の協力を得て「配送先の納品時間に合わせた出発時間への変更」と「夕積みから朝積みへの変更」の改善を行い、拘束時間の圧縮に成功しました。

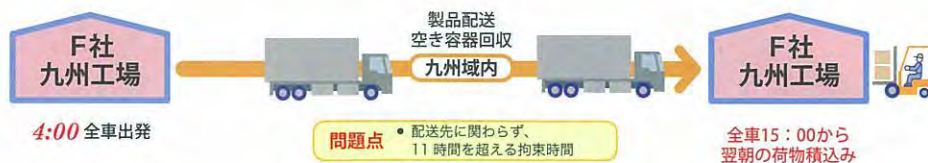
●トラック事業者のメリット

不必要に生じていた待ち時間が改善でき、拘束時間の圧縮に成功しました。

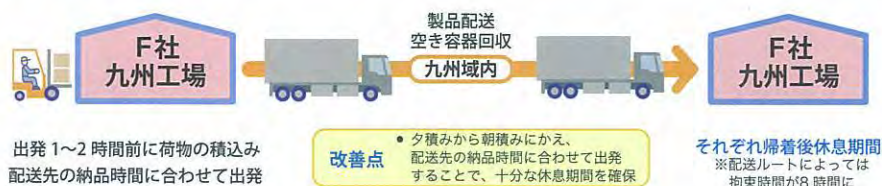
●荷主企業のメリット

コンプライアンスの徹底と品質・コストの向上を実現できました。

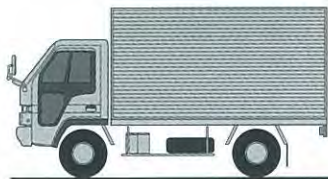
Before



After



それぞれ帰着後休憩期間
※配送ルートによっては
拘束時間が8時間に



**トラック運転者における長時間労働抑制・
改善基準遵守のための環境整備検討委員会**

事務局：株式会社日通総合研究所 経済研究部
〒105-8322 東京都港区東新橋1-9-3 電話03(6251)6442